

戦後81年、日本人が忘れてはいけない日

1学期の学校生活も今日で終わり、明日から夏休みに入ります。

わくわくしていますか！皆さんはどんな計画を立てているのでしょうか！

これからの約40日間、時間割のない毎が続きます。そうです、これからの40日間の時間割は自分で決めて自分でやるのです。自分のやりたい勉強をとことんやって、付けたい力をうんと付けて、それぞれが、一段とパワーアップした姿で2学期に会いましょう！

ところで、今朝は、一学期の終わりにあたり、大切なお話をしたいと思います。

去年も1学期の終業式で、「日本人が忘れてはいけない日」という話をしたのを覚えていますか。この「日本人が忘れてはいけない日」は、4つあります。そして、私たちは、その4つの日のうちの3つを夏休み中に迎えます。

ひとつは、6月23日です。もう一つは8月6日です。そしてもう一つは、8月9日です。最後の一つは、8月15日です。これらは、一体何の日だか皆さんは分かりますね。

これらは、全て日本の戦争に関する日です。

6月23日は、沖縄慰霊の日です。太平洋戦争で沖縄はむごたらしい戦場となりました。県民の4人に一人が亡くなったといわれています。その沖縄戦が終結し、沖縄がアメリカ軍に占領された日です。

8月6日は、広島に原子爆弾が落とされた日です。

8月9日は、長崎に原子爆弾が落とされた日です。

8月15日は、その戦争が終わった日です。

この4つの日を「日本人が忘れてはいけない日」にしようと話したのは、校長先生ではありません。天皇陛下です。正しくは、1981年8月7日、当時皇太子だった、上皇様が言われたことで、宮内庁のホームページにも今もしっかりと載っています。

陛下は、「平和は戦争がないというだけの受け身な状態ではなく、平和の

持続のためには、人々の平和の真摯な願いと平和を生きる強い意志が必要ではないかと思います。(1974 談話)」とも言われています。

明日から夏休みに入ります。

始めに、みんなは、どんな自分だけの時間割を描くのかなという話をしました。「何のために学ぶのか」「何を目指して私たちは成長していくのか」と考えていった時に、「少しでも世界の平和のために役立てる人に」「一人でも多くの人を笑顔にできる自分になるために」と学ぶ目標を確かにもって、これから迎える「日本人が忘れてはいけない日」の3日をかみしめて欲しいと思います。自分のためだけでなく、世界のために、大切な人のために、大いに力を付ける夏にしていまいりましょう。

最後に、この1学期に「口と足で絵を描く芸術家」を体育館にお迎えして展覧会をしたのを覚えていますか。その後、頑張って絵を描いていらっしゃる作家の皆さんに応援のメッセージカードを贈りました。みんなのメッセージカードはこんなに素敵なボードになって、飾っていただきました。その芸術家協会から、八小の皆さんにお礼ということで、素晴らしい絵をいただきました。



広島にお住いの西岡良介さんという「口で描く」作家さんです。絵の題名は「ともだち」です。この絵は、校長室前の廊下に飾りますので、じっくり見てください。

では、皆さん、夏休みを健康で、無事故で過ごしましょう。そして、9月1日に元気にお会いできますように。これで、終業式のお話を終わります。

